

## 日本評価学会春季第12回全国大会日程 「新開発協力大綱下での評価」

2015年5月30日（土）

10:00 - 10:30	受 付		
午前の部 10:30 - 12:30	<p style="text-align: center;">共通論題1</p> <p>評価における客観性： 現状と課題</p> <p style="text-align: center;">(山谷清志) Rm. 600</p>	<p style="text-align: center;">自由論題1</p> <p style="text-align: center;">参加型評価</p> <p style="text-align: center;">(林薫) Rm. 201AB</p>	<p style="text-align: center;">自由論題2</p> <p style="text-align: center;">評価の枠組み</p> <p style="text-align: center;">(佐々木亮) Rm. 202AB</p>
お昼休み 12:30 - 13:45	お昼休み (12:35~13:30 理事会)		
午後の部I 13:45 - 15:45	<p style="text-align: center;">共通論題2</p> <p style="text-align: center;">新開発協力大綱下での評価</p> <p style="text-align: center;">(和田義郎) Rm. 600</p>	<p style="text-align: center;">共通論題4</p> <p>評価に関わる関係者のキャ パシティ・ビルディングと エンパワーメント</p> <p style="text-align: center;">(源由理子) Rm. 201AB</p>	<p style="text-align: center;">自由論題3</p> <p style="text-align: center;">政策評価</p> <p style="text-align: center;">(小野達也) Rm. 202AB</p>
午後の部II 16:00 - 18:00	<p style="text-align: center;">共通論題3</p> <p style="text-align: center;">評価のガバナンス</p> <p style="text-align: center;">(廣野良吉) Rm. 600</p>	<p style="text-align: center;">共通論題5</p> <p>評価における科学性： エビデンスの実践的活用 とその方向性</p> <p style="text-align: center;">(正木朋也) Rm. 201AB</p>	

( )は座長です。  
自由論題報告の時間は原則として、発表20分、質疑8分、交替2分（計30分）です。

【大会参加費】	
学会員	1,000円
准会員	2,000円
非会員一般	3,000円
非会員学生	2,000円

発表会場：Rm. 600, Rm. 201AB, Rm. 202AB  
大会本部：Rm. 602  
休憩室：Rm. 601  
理事会：大会議室

**日本評価学会春季第12回全国大会「新開発協力大綱下での評価」  
プログラム詳細**

5月30日（日） 受付 10：00-10：30			
5月30日（土） 午前の部 10：30-12：30			
<b>共通論題1 評価における客観性 -課題と展望-</b>		<b>座長</b> 山谷清志	<b>同志社大学</b> Rm. 600
K1-1	総務省の客観性担保評価活動	○ 宗高有吾	総務省
K1-2	独立行政法人評価の客観性担保	森田弥生	筑波大学大学院
K1-3	評価と監査の理論上の区別	橋本圭多	同志社大学
K1-4	政府の評価における客観性の意味とその変遷	山谷清志	同志社大学
<b>自由論題1 参加型評価</b>		<b>座長</b> 林薫	<b>文教大学</b> Rm. 201AB
J1-1	学生経験調査を利用した大学生の能力に関わる分析 —企業が重視する能力と大学生の主観的な能力評価の比較—	○ 和嶋雄一郎	大阪大学
		中村将大	大阪大学
		齊藤貴浩	大阪大学
J1-2	効果的プログラムモデル形成のための実践家参画型評価アプローチ法の開発（その7）；効果モデル改善ステップにおける「全国試行評価調査（1年間の提示版プログラム試行調査）」の位置とその検証	○ 新藤健太	日本社会事業大学
		大島巖	日本社会事業大学
		植村英晴	日本社会事業大学
		浦野由佳	日本社会事業大学
		方真雅	日本社会事業大学
		全形文	日本社会事業大学
		村里優	日本社会事業大学
		石井真紀子	日本社会事業大学
		益子徹	日本社会事業大学
		巢立佳宏	埼玉工業大学
J1-3	フランスの学校外部評価—目標管理型評価と参加型評価、2つの評価手法の意義と可能性についての考察—	佐々木織恵	東京大学（博士課程）
<b>自由論題2 評価の枠組み</b>		<b>座長</b> 佐々木亮	<b>国際開発センター</b> Rm. 202AB
J2-1	イギリスにおける研究力評価の動向：REF2014のImpact評価を中心に	藤井翔太	大阪大学
J2-2	環境配慮行動誘発に向けた効果的アプローチの検証 モザンビークにおけるランダム化比較試験の事例	○ 青柳恵太郎	国際協力機構／東京大学
		細野智之	日本工営株式会社
J2-3	セオリー評価における「理論」とは何か	永井隆夫	同志社大学大学院（博士課程）
J2-4	学校評価計画のための論理枠の系統的作成方法についての一考察 ～‘Rainbow Framework’の紹介とその活用方法～	橋本昭彦	国立教育政策研究所
5月30日（土） お昼休み 12：30-13：45 （12：35～13：30 理事会）			
5月30日（土） 午後の部I 13：45-15：45			
<b>共通論題2 新しい開発協力大綱での評価</b>		<b>座長</b> 和田義郎	<b>国際協力機構</b> Rm. 600
		<b>コメンテーター</b> 廣野良吉	<b>成蹊大学</b>
		牟田博光	<b>国際開発センター</b>
		嶋谷哲	<b>国際協力機構</b>
K2-1	開発協力大綱について	清原剛	外務省
K2-2	簡単な論点整理	○ 和田義郎	国際協力機構
<b>共通論題4 評価に関わる関係者のキャパシティ・ビルディングとエンパワーメント</b>		<b>座長</b> 源由理子	<b>明治大学</b> Rm. 201AB
K4-1	評価のキャパシティ・ビルディングとエンパワーメント	山谷清志	同志社大学
K4-2	学校評価における教員のキャパシティ・ビルディング過程と教育改善効果の検証：学校評価実践支援の実践事例から	池田琴恵	東京福祉大学
K4-3	福祉サービス利用における当事者のエンパワーメント	藤島薫	東京福祉大学
<b>自由論題3 政策評価</b>		<b>座長</b> 小野達也	<b>鳥取大学</b> Rm. 202AB
J3-1	独立財政機関（IFIs）の活動内容とその評価：改訂版	上野宏	（一財）統計研究会／（一財）国際開発センター
J3-2	知事による政策の自己評価の分析	本田正美	東京大学大学院
J3-3	自治体行政評価の改善研究	高千穂安長	ノースアジア大学
J3-4	オバマ政権の社会政策における挑戦とCBO 40年の意味するもの	上野真城子	アジア都市コミュニティ研究センター（UCRCA）

共通論題3 評価のガバナンス		座長 廣野良吉	成蹊大学	Rm. 600
K3-1	自治体評価のガバナンス	田中啓	静岡文化芸術大学	
K3-2	日本の政策分析・評価ガバナンスの評価と独立財政機関（IFIs）	上野宏	（一財）統計研究会／（一財）国際開発センター	
K3-3	ネパールにおける評価ガバナンスについて：課題と展望	佐々木亮	国際開発センター	
共通論題5 評価における科学性：エビデンスの実践的活用とその方向性		座長 正木朋也	東京大学大学院	Rm. 201AB
K5-1	保健医療領域における評価の動向：研究の多様化と指針整備	○ 正木朋也	東京大学大学院	
K5-2	国際開発評価における透明性確保の取り組み	青柳恵太郎	東京大学大学院	
K5-3	教育領域における政策・実践でのエビデンス活用の課題	岩崎久美子	国立教育政策研究所	
K5-4	社会分野における昨今の「エビデンス」活用に関する批判的考察 SR01をめぐって	津富宏	静岡県立大学	